

次世代を担う子供達によりよい環境を与える事に関する陳情

(20 陳情第 4 号)

受理年月日	平成20年2月14日
陳情者	[Redacted]
	[Redacted]

(要旨)

裏面のとおり

杉並区議会

陳情趣旨

日頃より幼児教育に深いご理解を頂きましてありがとうございます。子ども達の豊かな成長を培ううえで、青空の下でのびのびと遊べる広場が必要です。荻窪5丁目に是非とも遊びの広場を確保して頂きたく、ここに追加の陳情書を提出致します。

陳情理由

荻窪駅南口の荻窪5丁目は、桃井第二小学校(650名)を始め、荻窪北保育園(130名)、荻窪北学童クラブ(100名)、にじいろ保育園(82名)、日の丸幼稚園(100名)、びのまる児童くらぶ(40名)、あんさんぶるで遊ぶ一般の小学生、ゆうキッズ、保健センターで健診を受ける乳幼児、駅前には小さな認可外保育所が数箇所あり、家庭で保育されている乳幼児などを含めると、優に1,000名を超える子どもを預かる文教地域であり、子育て地域です。また杉並区の中でも特に多くの有名進学塾が南口駅前に軒を並べています。午後4時頃から続々と宮前、高井戸、桃井、天沼など荻窪5丁目以外の子どもが自転車、バス、電車を使って集まってきます。おぎしん(450名)、日能研(250名)、エナ(90名)、トーマス(220名)、くもん(100名)等。しかし大勢の子どもがいるにもかかわらず、のびのびと遊べる広場がありません。そしてどの施設も災害時には桃井第二小学校へ避難するようにと指示されています。とても収容しきれないでしょう。

荻窪駅南口は商業地域の北口とは異なり、駅前通りを一步入りますと、歴史と品格のある静かな住居地域です。広い戸建と中層階のファミリータイプのマンションと商店とが程よく混在した地域です。また風紀もよく、駅にも近く、買い物や病院へも行きやすい為、年々人口密度が高くなっています。各マンションとも高齢者の入居が増えています。こどもの遊び広場が高齢者にとってもやすらぎの場になると思われます。

杉並区では一人当たりの公園の広さは0.99㎡ですが、荻窪4丁目・5丁目には唯一おしかわ公園(344.74㎡)があるだけです。5丁目の人口が4,180人ですから、平均値の10分の1にも満たないのが現状です。

災害時に多くの乳幼児と高齢者を善福寺川の緑地帯まで避難させるのは不可能に近いでしょう。桃井第二小学校と一時的に遊びの広場に避難できたら、多少なりとも安心です。

荻窪南口に集う乳幼児、児童、高齢者の安全・安心の為にも、遊びの広場をつくって下さいます様に陳情いたします。